

中沢かつゆき 通 信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自民党鎌倉市連合支部幹事長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

2月議会

新年度予算を審議する2月議会。昨年までは、自民党市会議員は中沢1名でしたので会派に属さない議員は代表質問ができませんでした。昨年の市議選後、2名で会派を組み、自民党鎌倉市議団として、代表質問を行いました。新年度予算では、防災、教育、まちづくりを始めとして、多岐にわたって質問を行いました。鎌倉市は、平成26年度から各部署での「包括予算」となります。個別事業は各部署での予算配分を行い実施することとなります。今年度から自主財源では財政を賄えない、現行制度となつてから鎌倉市としては初めて、「交付団体」となりました。国からの「交付金」に財源を委ねていかざるを得なくなっています。今後、職員給与を始めとする様々な財政支出を見直さなくてはならなくな

ります。しかし、昨年から発覚している、市長の支持者への「新規一社随契」は、財政が厳しい中でも見積書通りの費用比較ができない契約であり、また債務超過先との「一社随契」では、その事業開始まで疑問視されてしまうという事態もありました。公平な契約が求められる公契約において、このような事態が起きていることに、今年度からは契約そのものの在り方を考えていかなくてはと思います。ごみ有料化条例では、条例文そのものに不適切な創り方がある、と顧問弁護士の見解もあましたが、市長は「問題ない」と強行しようとしていました。しかし、予算特別委員が、法的な論拠をもって質疑を行い、結果取り下げとなりました。今後、有料化に対しては、より慎重に対応していきます。

代表質問

代表質問では、多岐にわたり質問を行いました。平成17年、市立保育園保護者会会長として取り組んだ市立保育園民営化計画で、旧鈴木邸・今井邸跡に新園建設は、現市長になって民間保育園計画となっていました。計画通り市立保育園建設が決まりました。しかし、計画であった材木座保育園の民営化は、その立地上保育園としては適さず、受け入れ園児数が減ることになりました。今後、民間保育園誘致を進めていかなくてはなりません。本来民間で行うことを民間へ、という自治体の流れに逆行する民間で行うべき事業を市で行っている事業いくつも見受けられ問題となりましたが、契約そのものの在り方として、低入札価格の引き上げと予定価格事後公表を今年度から進めていくことになっ

ています。発注では、市内業者への発注をより多くするよう求め、市内業者育成と災害時の対応を考えて可能な限り市内御者優先とすることを求めました。防災においては、今年大雪が続き、交通がマヒしただけでなく、雪対策の脆弱さが浮き彫りになりました。特に、融雪剤の散布がないことから、坂道では数日利用ができなかったり、除雪ができないことから雪の翌日も終日道路が雪で使用できなくなりました。鎌倉市は、職員の7割が市外です。災害対応では、歩いて時間がかかっても参集することとなっています。しかし、雪災害では歩いてすらくることができず、体制そのものの再考が必要だと指摘しました。部長を中心とする災害対策本部も、体制を再考することとなりました。

砂押川歩道整備と今泉地区下水整備

5年前から「公約」としてきた、今泉地区の砂押川歩道整備事業。ようやく今年度から工事着工となりました。30年以上も懸案としてきました今泉地区砂押川の歩道整備問題。6年前、子どもと歩いてその危険性を再認識し、5年前の市議選の公約とさせていただきます。以来、地元の皆さんとの話をさせていただき、一般質問で何度も取り上げ、ようやく前提となる測量が実現したのが、平成24年度。この間も、中村県議を通じて県に要望し、国には小泉参議院議員を通じて要望。国の補助金も受けられるようになり、平成25年度詳細設計となりました。当初計画では、2年計画で完成予定でしたが、工事個所が300mと長いため、交通の安全確保を勘案して、3か年計画となりました。工事期間中は、地元の皆さんにご不便をおかけしますが、安全第一で工事を行っていただくよう要望していきます。そして、今泉地区のもう一つの課題、下水道未整備地域の下水道整備事業。昨年要望をいただき、

地元の皆さんとお話をさせていただき、まず現状確認。議員となってから、雨水升の清掃は何度も対応させていただきましたが、下水道整備はなかなか着手できませんでした。しかし、衛生管理上下水道整備は必要ということで、急ぎよ進めていくことになりました。今年度予算で事業計上しましたが、まず、試掘を行い、そのあと設計となります。年度内には工事完了となります。

議員の活動の一つは、鎌倉の皆さんからの陳情をいただくことです。いただいた陳情を一つ一つ対応させていただき、時には時間がかかる事案もあります。しかし、少しでも先に進めていくための手法はとり続けなくてはと思います。地域の皆さんとのお約束、少しずつですが、実現することができる今年度予算です。

一日も早い完成に向けて、さらに担当課と調整を続けて行きます。

中沢かつゆきの経歴

子供たちの環境

1年前、要望した「いじめ110番」は、平成25年度24件の利用がありました。相談したくてもなかなかできず、辛い思いをしている子が多くいる、と一般質問で設置をお願いしました。教育委員会委員長の議会答弁で設置をお約束をいただき、運用開始一年です。今は、平日昼間だけでそれ以外は県の相談ダイヤルを案内しています。夜間休日でも直接鎌倉市で対応できるよう、進めていきます。

市立小中学校の受付のエアコン設置をお願いしてきましたが、設置工事が始まっています。各教室への設置は、県立高校で進んでいることから、鎌倉市立小中学校でもエアコン設置となるよう進めていきたいと思っております。

防災教育については、縦割り学習の中でも避難訓練等を通じて、子どもたちが「自ら」身を守る、ということを基本に学校でも様々な取り組みをお願いしました。

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒業
スパライズ株式会社代表取締役
大阪観光大学観光学研究所客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ副会長
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
県議会議員中村省司秘書
湘南獣医師会 顧問
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)
鎌倉市議2期 総務常任委員長
二階堂在住
事務局：Tel 0467-61-0305
Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



高峰温泉：冬は雪上車でスキー場の駐車場まで迎えに来てくれる。夜は、こんなに空に星があるのかと思うくらい、手が届くくらいの星を見ることができる宿。それが、高峰温泉です。夜は、星の観望会で太陽系とふれあい、朝は眼下の雲海を眺めながらの温泉。鳥の鳴き声が、モーニングコール。木々の香りを浴びての朝の散策は、別世界。泉質は、含硫黄-カルシウム・ナトリウム・マグネシウム-炭酸水素塩泉。飲泉は、胃腸にいいようです。適応症は、皮膚病、痛風、肝臓病など。旅から帰っても、数日は硫黄の香りが残っているくらい、いい温泉です。日帰り入浴もできますので、ハイキングの後に一風呂。多くの方に愛され続けている高峰温泉は、昭和53年火事により焼失しましたが、常連客が協力して再建しました。今では、「ランプの宿」として有名となっています。「ランプの湯」では、少し温い源泉そのまま、適温に調整した湯舟と二つあります。夜、ランプの中に入る温泉は、格別です。料理は、採ってきた山菜中心。交通は、JR小諸駅から車で40分。新緑の季節、ぜひ高峰高原へ。

<http://www.takamine.co.jp/>